

溶連菌感染症について

✿ 溶連菌感染症

溶連菌という細菌に感染して、突然の発熱と咽頭痛を引き起こします。5~15歳の子供に好発します。

✿ 症状

発熱・のどの痛み、咽頭炎・扁桃炎、いちご舌(発疹が舌にできる)
数日~1週間で全身に広がる発疹が出ることもあります

✿ 治療

診断されたら、**抗生素**の内服を開始します。



注意

合併症を引き起こさないために、
症状が消えても抗生素は飲み切ってください！

✿ 合併症

ときに、急性糸球体腎炎や、リウマチ熱といった合併症につながることもあります。

✿ 尿検査

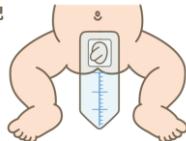
診断を受けてから 2 週間前後の時に尿検査で合併症がおきていないか確認します。本日お渡しする容器に尿をとって、受診をお願いします。元気であれば、お子さんは不在でも OK です。

朝検尿を持参して頂き、夕方に結果を聞きに来て頂くことも可能です。

尿検査のみでもご予約(夕方来院の場合は夕方の時間帯で予約)が必要です。ご協力の程宜しくお願い致します。

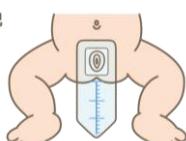
<採尿バッグの使い方>

●男児



- ・陰茎の下端を採尿バッグの下端にあわせる

●女児



- ・陰唇を開き、しわをしっかりと伸ばす
- ・肛門をふさがないように貼る

※オムツを上げる時にパックが上向きにならないように気を付けましょう！

就寝前に貼ると翌朝剥がれていることが多い為、朝一の貼り付けがオススメです。

✿ 登園・登校の目安

抗生素の内服をして 24 時間以上経過し、熱がさがり元気もでて、食事を摂ることができれば大丈夫です。



やまさき小児科